

私のカンボジア支援 ーその8ー 野菜を作り、ナマズを飼って・・・ 2005年頃

2005年、バタンバン州教育長さんに学校を見てくれ。」と案内されました。「これから行くワットタムン中学校は、校長先生が真剣に学校を良くしようと努力しているから、先生も良いし、生徒も育っている。」と熱く語ってくれました。

学校に行って感心したのは、生徒の礼儀正しさと明るさです。先生も誰もが笑顔で挨拶してきます。「チェムリアップ ソー」と私たちに明るく声掛けをしてくれます。

放課後も生徒がグループで、外のテーブルを囲んで勉強しています。これは今までに見られなかった光景です。明るい先生たちで活気を感じます。まさに教育長さんの言葉通りでした。

校長先生も気さくな人で、挨拶の後「畑を見てくれ。」と案内されました。畑に行って「ええー！ すごいなー」びっくりしました。

生徒たちがブリキの大きなジョウロで勢いよく水を撒いています。草取りをする生徒や鍬とスコップで畑の耕しをする生徒、皆楽しそうに働いています。畑に植えられた茄子・きゅうり・トウモロコシ・へちま・空芯菜も良く育っています。

乾季で水が無い時期ですが、「水は何処から汲んでくるのかな？」説明を聞いて、またまたびっくりしました！

数メートル下の池から汲んでいるのですが、生徒が水汲みに池に下りている姿は見られません。池から長いビニールパイプを引いて、畑に置いた土管で作った水槽に水を汲み上げているのです。これまたびっくりしました！！ よく見ると仕掛けがありました！ 長い鉄棒の先に、パイプの太さに切った皮をブリキで固定した弁を付けて、パイプに通し水を汲みあげているのです！ ポンプの原理の応用です。知識人がポルポト軍に殺され、知識が無い先生が多い中で、この発明？は驚きでした。私もやってみましたが、軽々と水が上がります。

さらに校舎の裏に案内され、そこには、キャンパスの布で作った「池」があり、池の中にはたくさんのナマズが泳いでいました。大きく育っていました。餌をやり盗難防止の管理人も居ました。

これら野菜やナマズを市場で売って、教科書や図書館の本を買うのだそうです。教科書は州からの支給のはずですが、まだ全校生徒分は支給されません。特に国・数・英・理の教科書は足りませんが、町の市場では売っています。これが不思議です。教育長さんに聞いても納得する答えは返ってきません。

生徒が畑で熱心に働く理由が分かりました。



池から水をくみ上げる



驚きの発明～手製のポンプ



畑にはカリフラワーが育っていました



養魚池でナマズを育てています

◇ご支援をお願いいたします。

教育環境を整え、貧しい子に教育の機会を提供し、先生に指導力の向上のお手伝いをしています。SSFCの活動へのご支援をお願いいたします。寄附金のお振込みは、右記からお願いいたします。

- 三菱UFJ銀行 神保町支店
口座番号(普) 0968555
- ゆうちょ銀行 00110-2-767497
口座名: 公益社団法人 SSFカンボジア

詳しい解説・近況報告はSSFCホームページに掲載(ホームページ: <http://www.ssf.or.jp/>)しております。ぜひご覧ください。右のQRコードからもアクセスできます。お問い合わせは、TEL: 03-6272-5717 FAX: 03-3511-5019 E-mail: info@ssf.or.jp



※活動内容の報告(バックナンバー)はホームページ「<http://www.ssf.or.jp/>」にも掲載されますので、ぜひご覧ください。



កម្ពុជា によにゅむは、カンボジア語で「笑顔」という意味です。

によにゅむ通信

2019年4月号 No.16

公益社団法人
Sumita Scholarship Foundation, Cambodia
(SSFC) 代表理事 住田平吉
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町2-44
第二石坂ビル502
TEL: 03-6272-5717 FAX: 03-3511-5019
E-mail: info@ssf.or.jp
ホームページ: <http://www.ssf.or.jp/>

□シュムリアップ州・バクコン郡・ピボケイ中学に校舎5教室・トイレ等を建設します。
さらにダン・ビチッカ郡教育長から、「ここにバクコン高校の分校を創ります。」



校舎建設決定！生徒の喜ぶ顔が素敵です。

ダン・ビチッカ郡教育長はこの地に高校の分校を創ることを生徒の前で宣言しました。校舎の建設工事は4月末から始めます。2019年11月1日にバクコン高校の分校が開校されることになりました。

■ダン・ビチッカ郡教育長の挨拶

「SSFCの皆さん、ピボケイ中学を支援してくれてありがとう。学校に来るたびに生徒が良くなっているのを感じます。田舎の中学なのに高校に進学する生徒が多いことはうれしいことです。ピボケイ中学の先生は素晴らしい。生徒の皆さんも素晴らしい。バクコン郡の優秀校に推薦します！」

SSFCは遠い日本から教えに来てくれる。皆も頑張って勉強してほしい！郡内に高校が2校あるが、皆さんが行くバクコン高校が遠いので、ここにピボケイ分校を創ることを約束します。分校が出来たら高校に行きますか？」

生徒一同:「勉強します！高校に行けるように勉強します！！」

■ロン・チョム郡長代理の挨拶

「新しい校舎が出来たら、今よりもっと勉強してください。私もとても嬉しい！私の中学生時代は、内戦で勉強できなかった。私も政府軍に参加して戦った。ここは激戦地だった。私は戦闘中に地雷で片足を失った。もう二度と国民同士争う戦争をしてはならない。皆さんは勉強してください。勉強すれば幸せになるチャンスはあります。」



◆先生も民族衣装に着飾って！正月休み前のお祭り兼優秀生徒の表彰式

■招待客の入場から式が始まりました。

SSFC3人・ボランティアの方々・ロンチョム郡長代理、ダン・ヴィッチカ郡教育長・教育局職員等。踊りの生徒が先導して、招待客はボンゴ、木琴の音楽で入場する。

生徒は拍手、先生は民族衣装に着飾って出迎え。男女生徒2人の司会で始まる。

■校長挨拶

「SSFCの支援に感謝しています。先生への授業指導は私たちが知らなかったことを沢山教えてくれています。

その上また新しく校舎1棟5教室を建ててくれることは先生と生徒にとって言葉で表せないほど嬉しいです。

ありがとうございます。」と言って抱きついてきました。

■感謝状授与

郡長代理・郡教育長から住田代表理事・小林監事・ボリナ理事の順で感謝状を頂いた。3人がそれぞれお礼を述べる。

■優秀賞授与

SSFC・郡長代理・郡教育長から、学年毎に成績の良い生徒にノートなど賞品を上げる。奨学金給付生徒もいて嬉しそう。

■歌と踊りが始まる

カンボジアに伝わる民謡を全員で合唱した。きれいな声で上手だった。式の雰囲気を盛り上げ、全員の心がほのぼのとして良い気持ちになった。



正装して出迎える先生たち



民俗舞踊を踊る生徒と民俗音楽を歌う生徒



抱きついて喜ぶ校長先生



感謝状をいただいたSSFCとボランティアの方



式でお礼を言う生徒

■生徒による余興の寸劇が始まりました。

「なぜ勉強しなければならないか」(生徒が作り・演じた物語です。)

□カンボジア全土で土地が値上がり、農地も高騰し、土地を手放した農民が増える。

□「大金を持った農民」は、朝から酒を飲んで働かず、博打三昧。

「母親」も着飾ってカフェに遊びに行きます。

「子ども」にもオートバイを買い与えます。

「子ども」は学校をさぼり、金を持って町で遊んでいます。

□そこに目を付けた「詐欺師」が、村人をだまし、金を投資させます。

□「大学に通っている娘」が、「投資するな！」と父母に言う。

「大学を出た村人」が、「投資するな！」と説得する。

□だまされて大金を取られた事に気づき、泣く父母。

「家に金がなくなり、学校に行かなかった生徒」が反省するが後の祭り。

□「子どもに金を与えて学校に行かせないからこういう結果になる」と、父母をさとすポリス。

□「真面目に勉強した生徒」は、大学を卒業して、仕事にも就き、「先生に報告」に来る。

□司会者:さあ、皆さんはどの人生を選びますか？



心配そうに劇を見る先生たち



「皆さんならどうしますか？」と投げ掛ける寸劇の作者チーム



土地を売って働かず、朝から酒を飲む村人たち



投資会社に騙され金をとられる村人たち



真剣に劇を見る生徒たち

◆校舎5教室の建設決定を伝達の日。先生たちは大喜び！！

その日校長は出張でいませんでしたが、6人の先生に集まってもらい、校舎1棟5教室の建設をつたえる。先生たちは大喜び。「ぜひ、生徒に早く知らせたい」

■6人の先生の喜びの声

○セング・サヴォーン副校長:有り難うございます。心から感謝しています。校舎を建設してくれるのはとても嬉しい。生徒もめちゃくちゃ喜びます。

○テック・サヴォーン先生(国語):びっくりした。本当ですか?!うれしい!生徒がよくわかるように一生懸命教えます。SSFCと支援者に感謝します。

○ソクン・リンダ先生(英語):(日本語で)ありがとうございます。(以下クメール語)こんなに嬉しいことはありません。生徒も喜びます。新しい校舎が出来たら念願の教科別の教室にして、もっともっと良い教育をします。生徒によくわかる楽しい授業をすることを約束します。本当に嬉しいです!!

○ライ・ソマリー先生(数学):うれしいー!びっくりしています。こんなに早く建ててくれるなんて夢のようです。私ももっともっと頑張っ、生徒によくわかるように教えます。SSFCの沢山の支援を有り難うございます。

○サオ・キムリー先生(生物):感謝・感謝です。嬉しくて何も言えません。

住田さんたちのSSFCの支援に心から感謝しています。

○リー・ティンナッ先生(地学):うれしくて嬉しくてたまりません。とても感謝しています。これ以上何も言えません。涙が出ます。ありがとうございます。

○教室の使い方と教科別教室備品については、先生たちで協議し、SSFCの指導を得ることも話し合いました。

■決定の経緯(報告)

4月3日・9:30 シェムリアップ州教育局でサイ・チャ・ホン州教育長とダン・ヴィッチカ郡教育長との話し合い。

①スレイ・ビボケイ中学に校舎1棟5教室(教室・廊下はタイル張り)・トイレ4室・教室へ行く校庭の舗装などをSSFCが建設する。

②ビボケイ中学の先生が優秀なことを説明した後、リンダ先生がバクコン郡内の英語の先生の集まりで授業したことについて聞く

③バクコン高校の分校を創ることについてのお願い。

■なぜ高校の分校を創って欲しいのか？

先生たちの願い！

○中学卒業試験の合格者は68人中65人。不合格者は3人だけで、生徒は勉強を頑張っている。成績優秀な生徒が高校に行けないのは残念だ。○この地区の村から、317スナー・ダイチョウ・バクコン高校まで20Kmある。歩くと片道5時間かかる。歩いてはいけない。自転車でも1.5時間以上かかる。

○317スナー・ダイチョウ高校への道は、暗くて危険なので通わせられない。○ビボケイ中学3年生の高校進学率は30~40%と低い。その理由は、家が貧しいことと高校が遠いから。また途中で辞めてしまう生徒が多い。高校を辞めても田畑の手伝いくらいしか仕事はない。○ここに高校の分校が出来れば、高校に行く生徒は増える。先生も教えがいがある。

■ダン・ヴィッチカ郡教育長の話

○リンダ先生の授業の参観:バクコン郡内13中学校の27人の英語の先生がビボケイ中学校でリンダ先生の英語の授業参観を行った。リンダ先生の授業は素晴らしい。とても良い授業だった。生徒と先生が一体になった授業だった。楽しくて1時間があっという間に終わった。このような授業を積み重ねていけば英語塾に行かなくても英語の会話もできるし、生徒のレベルが上がることを教えてくれた。素晴らしいことだ。感心した。今日参加した先生も見習って、学校で英語だけで進める授業をして欲しい。

■サイツ・チャン・ホン州教育長の話

○ビボケイ中学地区に317スナー・ダイチョウ・バクコン高校の分校を創る調査に4月5日に群教育長が行く。その報告を受けて州教育局から教育省に申請する。○ビボケイ中学校に校舎1棟5教室を建ててくれるのは、大変ありがたい。生徒の机・椅子・職員用の机は州教育局で用意する。○ランサイ中学をシェムリアップ州の優秀校に推薦したが、今年は選ばれなかった。○教科書だけで勉強するのではなく、遺跡見学や調査、野外観察など教室を離れて勉強することも良い勉強だが、今はまだ出来ないと思う。少しずつ変えていく。○シェムリアップ師範学校の卒業生は毎年150人位いる。教育に新風を吹き込んでもらいたく期待して各学校に配属しているが、年配者につぶされて何も出来ないのが現状だ。



州教育長・郡教育長・(通訳)・住田代表理事